

R 0 5 . 3 . 2 4 3 学期修了式

皆さんおはようございます。こうして皆さんが体育館に集まって対面での修了式を行うのは実に3年ぶりで、校歌も全員で歌えたことに非常に感動しています。本校では初めての経験で少し緊張しますが、今回はあまり嘸まないように努力したいと思います。

さて先日の3月8日、3年生274名が雪谷高校を無事巣立っていきました。この学年の高校生活は、緊急事態宣言下でのスタートで、1年次は入学式を始めとした学校行事もすべて中止、今まで当たり前だった人と人との触れ合いも制限されるなど、おおよそ思い描いた高校生活とはかけ離れた生活を強いられた学年でした。マスクも、結局3年間外すこともできませんでした。しかしながら3年生は、目標を見失うことなく、お互い励ましあいながら、今自分ができることに懸命に取り組んでくれました。その達成感からなのでしょう。実に堂々とした立ち居振る舞いで、正に『有終の美を飾る』にふさわしい卒業式でした。

先日2年生に対して行われた3年生による受験体験講話においても、懸命に取り組んだ3年生の姿を垣間見ることができました。

勉強と部活を両立させることは本当に大変で、睡魔に襲われることも多かったが、部活をしていることを言い訳にせず、どんなに疲れていても、早い段階から毎日時間を決めて、勉強する習慣をつけていたとか、そのように部活を続けていたから、引退した後、集中力を切らさず長い時間勉強することができたとか、準備をして臨んだ公式戦での緊張した経験が、入試の本番で生きてきたなど、説得力のある言葉で話してくれました。時には成績が伸びなくて落ち込んでしまう時もあったけど、「お前はこんなもんじゃない」と自分を鼓舞していたとか、毎日学校に来て仲間と話すこと

で気持ちを切り替えることができたとも話してくれて、文武両立を懸命に成し遂げようとした気持ちが十分伝わってきました。中でもバトミントン部の先輩伊藤さんが、「学校行事でも部活でも勉強でも、全力でやるのが大切で、全力でやったことは必ずその後の自分の武器となる。ダメだった時は落ち込むけど、やった事実は決して無くならない。」と話してくれたことには、私たちが皆さんに伝えたいと考えていることを、しっかりと自分の言葉として語ってくれたことに大きく感動しました。

それと同時に、3年生の講話を真剣に聞いてメモを取っていた2年生皆さんの姿にも感心しました。恐らくこの中の多くの方が、3年生の言葉に感化されて、やる気に満ち溢れていることと思います。来年は君たちの番です。素晴らしい卒業式を迎えられるよう、引き続き皆さんの活躍に大いに期待しています。

1年生はいよいよ新入生を迎え、先輩として、部活動でも学校行事でも中心となって活躍を求められる学年です。この雪谷高校が、さらに成長していくためにも君たちの力が必要です。言われてやるのではなく、自分で考えて主体的に積極的に行動することを期待します。

そう言った中でも、先日行われた探究の発表会では、皆さんの大きな可能性を感じました。さすがクラスで代表に選ばれた人たちであって、どの発表者もプレゼンに工夫が凝らされ、堂々とした口調で発表してくれました。特に最優秀賞を取った八木君の「人の印象を左右する要素」は、内容も構成も工夫され、大変すばらしいものでした。

この探究活動を通して、自分なりの問いを持つことは、自分なりの社会への関わり方を考えることであり、引いては自分の将来や進路先、学びへのモチベーションを高めることに繋がります。是非情報の収集力や分析力を

高め、より深い学びへと繋げてください。

最後に、5月から新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い、来年度からコロナ前の学校生活に戻れる時期が来ました。まだ東京都教育委員会から具体的な対応は出されていないのですが、とりあえず今までの時差登校を、この4月から通常の登校時間に戻します。具体的には15分時間を早め、8時25分朝学習開始と致します。少し早くなりますが、遅刻をしないよう気を付けて登校してきてください。

それでは皆さん、健康には十分留意しながら充実した春休みを過ごして、明るく元気に新学期を迎えましょう。

以上で修了式のあいさつと致します。